

復興防災公園（仮称）の整備に向けた「かわまちづくり計画」

- 復興防災公園（仮称）の整備に向けて、国土交通省（河川管理者）の「かわまちづくり支援制度」に基づき「小田川かわまちづくり計画」を作成

【かわまちづくり計画とは】

- ・地域活性化のため、地域資源や魅力ある水辺空間を活用し、住民・民間・河川管理者・市の連携の下、川を感じ楽しめる賑わいのある水辺空間づくり等を目指す取組

【メリット】

- ・河川管理者から、復興防災公園付近の小田川河川敷広場の整地等の協力が得られる
- ・河川占用の条件が緩和され、河川敷での各種イベントの開催等、地域のニーズに対応して河川敷地が利用可能

【スケジュール】



①：真備地区まちづくり推進協議会との意見交換を実施中

①・④：関係機関が連携して実施（住民・民間・河川管理者・市）

4

復興防災公園（仮称）に関する意見交換



- 公園の利活用や維持管理について、真備地区まちづくり推進協議会と意見交換を実施

開催日	内 容	
	復興防災公園（仮称）について	かわまちづくりについて
令和2年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の説明 ・今後の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくりとは・・・ ・他都市の事例紹介
令和2年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール ・維持管理方法の紹介・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画（案）の説明
令和2年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・導入施設の紹介 ・協働による維持管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画（案）の説明 (前回頂いた意見を反映)



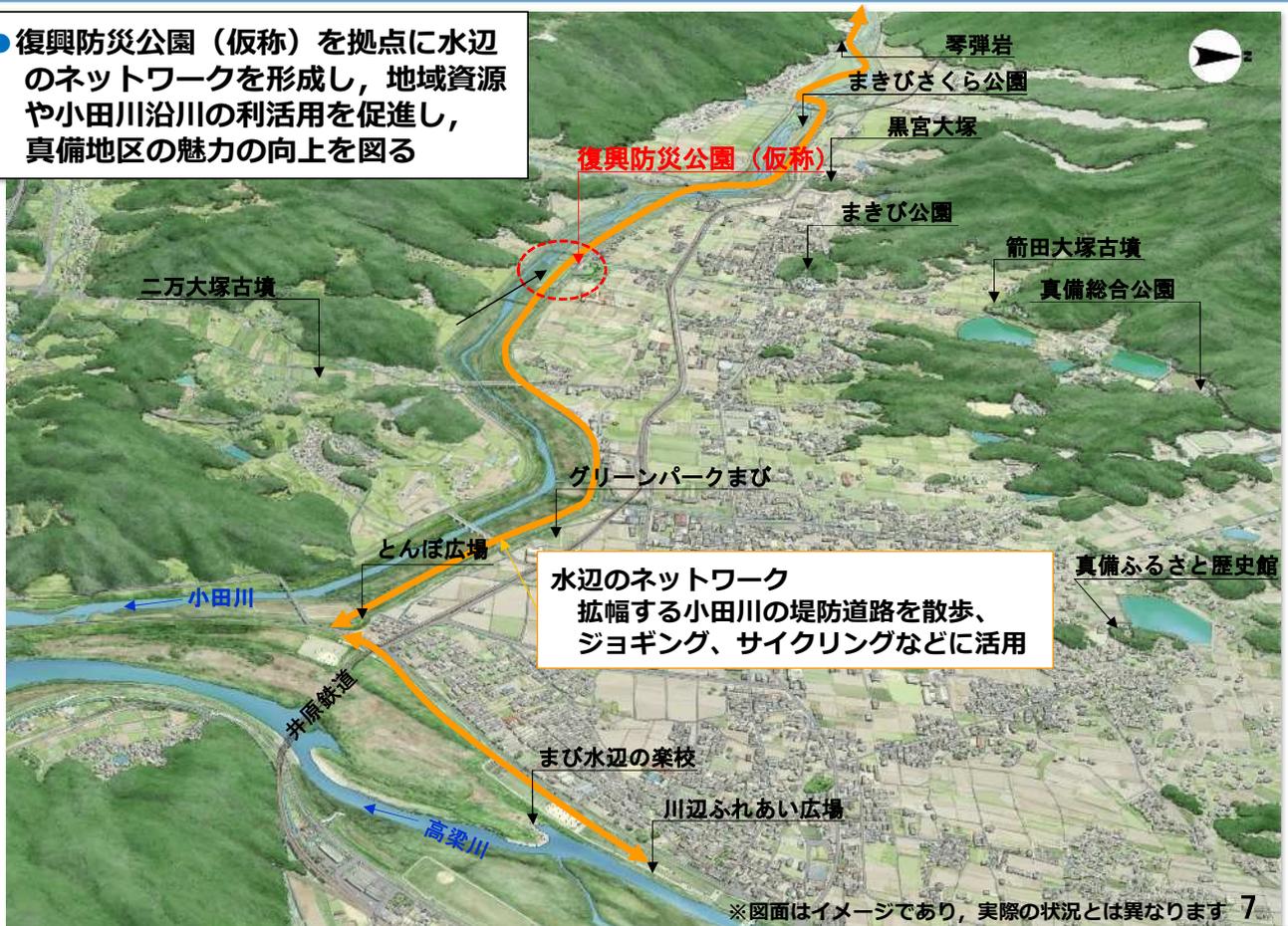
5

● 真備地区まちづくり推進協議会からの主な意見

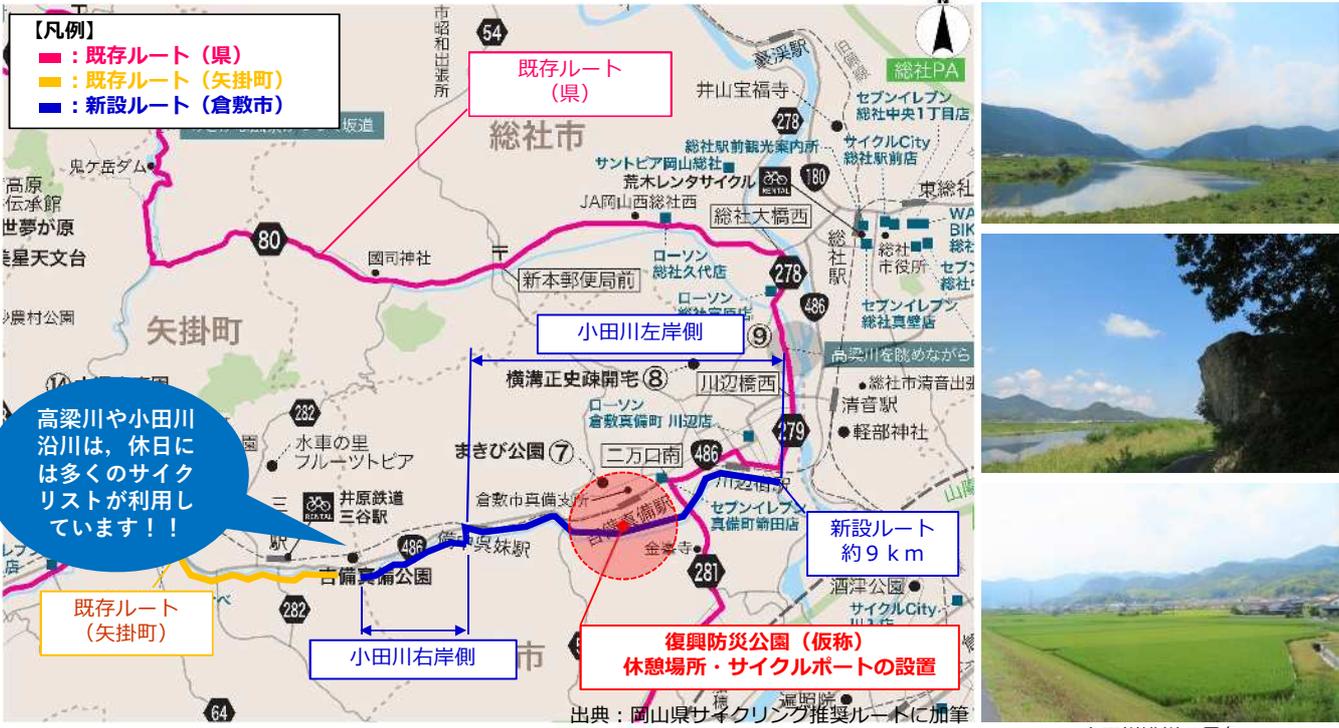
利活用	<ul style="list-style-type: none"> まび水辺の楽校は、水辺に土砂が堆積して遊べる状態ではない 小田川沿いの「琴弾岩※」も水辺のネットワークに位置付けてほしい (※吉備真備公が巨岩の上で琴を弾いたという言い伝えがあり、毎年、弹琴祭を行っている) 災害の記憶を後世に伝えていく必要がある サイクリングルートは「マラソンコース」や「ツデーマーチのコース」(市主催のウォーキングイベント)に活用出来る 小学校の行事(遠足等)を公園で行うのも良いのではないかと 町内会で行っている防災訓練を、今後は公園で行いたい 地区によっては単独でのイベント開催は難しい 真備町全体のイベントを公園で行うことも考えられる
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 日常の維持管理は、各地区が順番に行うことなども考えられる
施設	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えて炊き出し設備や、マンホールトイレを整備してほしい

かわまちづくり計画 ～川を感じ楽しめる空間づくり～

● 復興防災公園(仮称)を拠点に水辺のネットワークを形成し、地域資源や小田川沿川の利活用を促進し、真備地区の魅力の向上を図る



- 小田川沿川の拡幅する堤防道路を活用（道路幅 5 m → 7 m に拡幅）
- 下流は南山橋付近～上流は矢掛町境までの約 9 km
- 既存のルート（県、矢掛町）とも連携



～小田川や里山、田園風景等、緑豊かな自然環境を見ながらサイクリングを楽しむ～ 8

スケジュールについて

【これまでの検討】

これまでの検討	真備地区の復興に向けたワークショップ（第1回）	令和元年 8月31日
	真備地区の復興に向けたワークショップ（第2回）	令和元年10月 5日
	令和元年度真備地区復興懇談会	令和元年10月26日・27日
	真備地区復興計画推進委員会	令和元年11月11日
	真備地区の復興に向けたワークショップ（第3回）	令和元年11月24日
	パブリックコメント実施	令和2年2月19日～3月10日
基本計画策定		令和2年3月31日

【今後のスケジュール】

今後の流れ	意見交換 整備内容の検討	令和2年度
	実施設計	令和3年度
	工事	令和4年度～令和5年度
	完成予定	令和5年度
		9